

# EduMed

～ 学生による入院児への支援 ～

中間報告

(2023.05～2023.09)

# 活動理念

①

入院治療中の子どもたちのQOL (Quality Of Life) 向上への寄与。長期入院中の小学生～高校生に対し、医療スタッフや家族以外の第三者の関わりをつくり、子どもが子どもでいられる関係・時間を作る。

②

教育学部生が入院や慢性疾患を抱える子どもの存在を知り、将来の臨床の場において有効的な教育ができるように学びを得る。さらに、教育学と臨床心理学を学ぶ学生が共に支援に取り組むことで、学生の段階から多職種連携を意識する。

③

教育と医療の橋渡しになる。信州大学教育学部内の団体として、長野県内の病院と信頼関係を築き、医療と教育間の連携強化に貢献する。

# 活動概要

二次審査会

初回  
全体MTG

※主要な活動のみ抜粋

県立こども病院・  
信大附属病院など  
ボランティア支援の確認

附属病院との  
打ち合わせ

プリント制作  
開始

オンライン学習支援  
(顔合わせ)

2回目  
プリント郵送

学習支援MTG①

オンライン学習支援  
(開始)

1回目  
プリント郵送

全体MTG  
リフレクション

中間報告会

東長野病院での  
サマーチャレンジ

Kubiなどのロボット  
を借用

全体MTG  
(ICT活用について)

# 学習支援（オンライン）

高校2年生 Cさん

国語と英語の2科目

それぞれ週1回の1時間（20:00～21:00）で実施

Google meetを利用  
Cさんはタブレットを使用

## <実施内容>

### 初回

- ・方針/目標決め
- ・学力を見るための基礎的なテスト
- ・宿題の確認

### 2回目以降

- ・宿題の答え合わせと解説
- ・疑問点の解消
- ・問題演習
- ・過去問調べ

★初顔合わせでのCさんのひと言

「入院していなかったら

〇〇大学とかに行きたかった…」

### 課題点

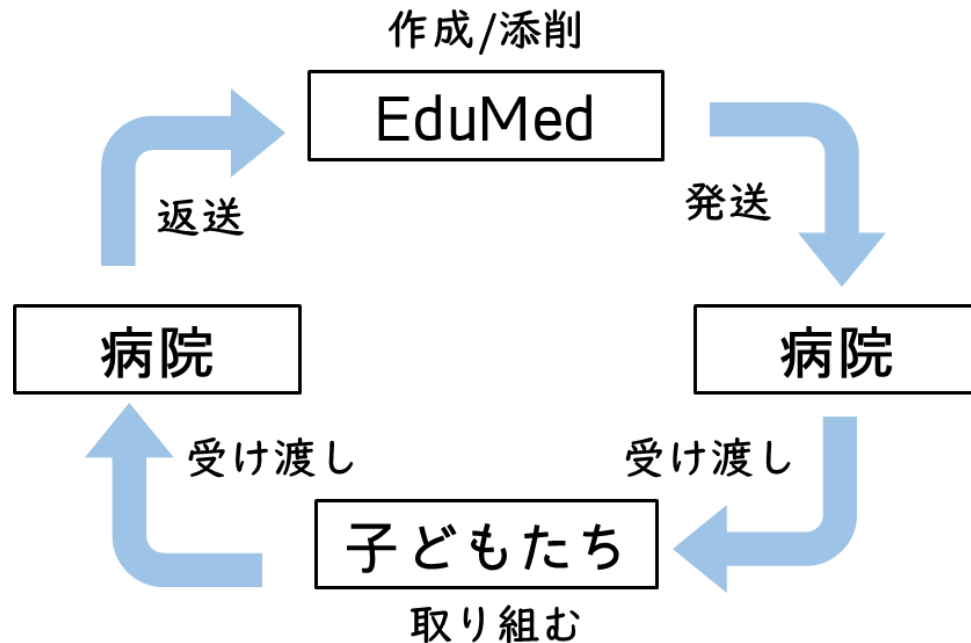
- ・容体の急変による予定変更への対応
- ・退院間近における対応方法

# 学習支援（プリント）

対象：小学生～高校生（高校浪人生も含む）

全科目をメンバーごと分担しながら作成

子どもかたちからの返送に対して、添削やメッセージを添えて返すことで相互的なやり取りに



★小児科看護師長さんより

「院内学級のない患児にはボランティアの  
介入は大切なんだと感じています。」

課題点

- ・院内学級に通うお子さんにとっては負担
- ・大学生側が介入できず、病院側に任せる形になる

(1) アイスコーヒーとホットコーヒー。  
角砂糖が早く溶けるのはどっち？  
ア. アイスコーヒー イ. ホットコーヒー

アイスコーヒーと  
ホットコーヒーの違いは？

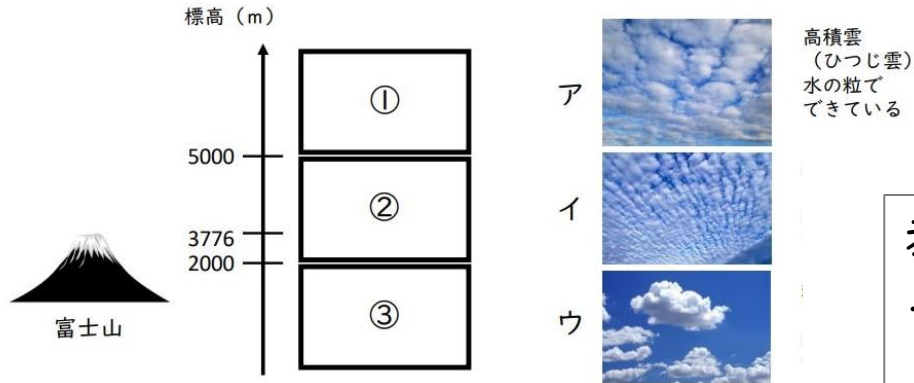
(2) どこかで雷が落ちた！！先に自分に届くのはどっち？  
ア. 雷の光 イ. 雷の音

ピカッ！！が先？  
ゴロゴロゴロゴロ…が先？

(3) 長野県と沖縄県。影が長いのはどっち？  
ア. 長野県 イ. 沖縄県

赤道に近い方が  
日が高く昇る  
(南中高度が高い)よ！

(4) ①～③に入る雲はそれぞれア～ウのうちどれ？



高積雲  
(ひつじ雲)  
水の粒で  
できている

雲の名前は、高さや形を表す漢字からできている。上記3種類全部に入っている「積」はなんだろう？「高」と「巻」は？雲は全部で10種類だからぜひ空を見ながら名前と形を覚えようか、雲ってなんで浮いてるんだろう??

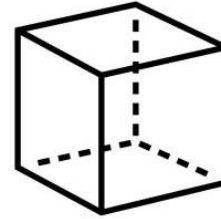
㊦㊧㊨㊩①(ア) ㊪(イ) ㊫(ウ)

教科書や単元に基づき  
つつも面白く、楽しく  
取り組めるような  
工夫した教材づくり

下にある3つの立体に色をぬりたい。でも、ぬる色はできるだけ少なくしたい。  
では、下にある3つの立体をぬるためには、それぞれ最も少なくすれば  
何色あればぬれるでしょうか??

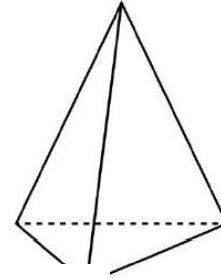
ただし、となり合う面が同じ色にならないようにしてくださいね。

(例えば、ぜんぶ同じ色でぬってしまえば、となり合う面もぜんぶ同じ色になってしまうね)



\_\_\_\_\_ 色

ヒント：となり合う面は必ずちがう色にしたいってことは…向き合っている面は同じ色でもいいかな？



\_\_\_\_\_ 色

そもそもの面がとなり合う面なんだろうか…?



\_\_\_\_\_ 色

# 季語クイズ 上級編

春 (1~3月)	夏 (4~6月)
どこに当てはまるか考えてみよう！	
秋 (7~9月)	冬 (10~12月)

## 言葉リスト

- ① 雪崩 (なだれ)    ② 筍 (たけのこ)    ③ 田植え
- ④ きりぎりす    ⑤ 寒雀 (かんすずめ)    ⑥ のどか
- ⑦ うららか    ⑧ 小春日和    ⑨ 薔薇 (ばら)
- ⑩ 秋刀魚 (さんま)    ⑪ 桔梗 (ききょう)    ⑫ 除夜の鐘
- ⑬ さざんか    ⑭ 葵 (あおい)    ⑮ 田螺 (たにし)

春 ② 夏 ③ 夏 ④ 秋 ⑤ 冬 ⑥ 春 ⑦ 春 ⑧ 冬 ⑨ 夏 ⑩ 秋 ⑪ 冬 ⑫ 冬 ⑬ 冬 ⑭ 夏 ⑮ 春

クイズや雑学も含めて  
取り組みやすさを  
考慮したつくり

## 恋の和歌を読んでみよう！

思ひつつ 寝ればや人の見えつらむ  
夢と知りせば 覚めざらましを

小野小町

作者はどんなことを考えていたのかな？この和歌の意味を想像して書いてみよう！

ヒント：せば～まし→もし～なら、～なのに



瀬を早み 岩にせかるる 滝川の  
われても末に 逢はむとぞ思ふ

崇徳院

作者はどんなことを考えていたのかな？この和歌の意味を想像して書いてみよう！

ヒント：せかるる→せき止める

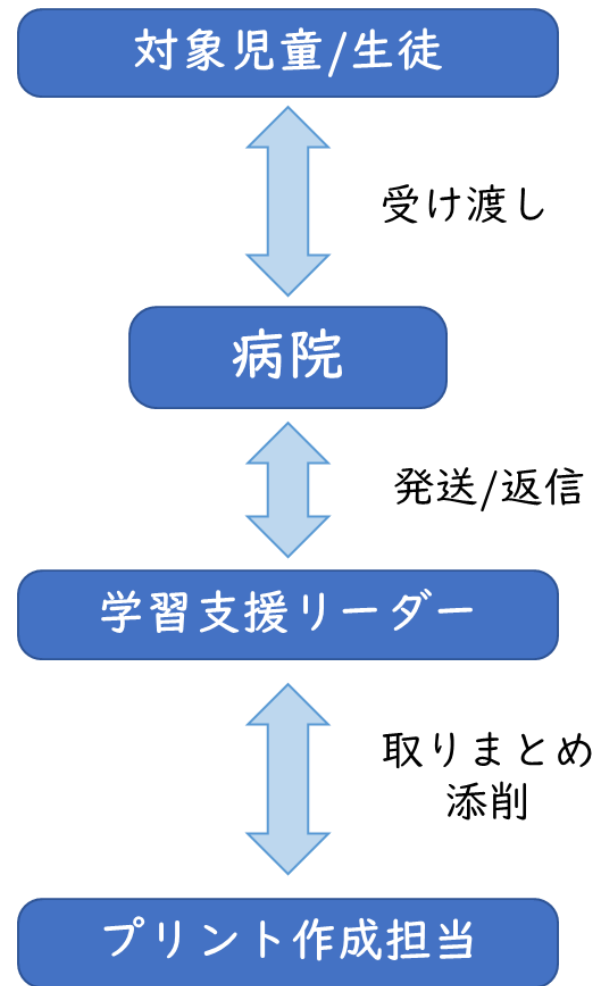
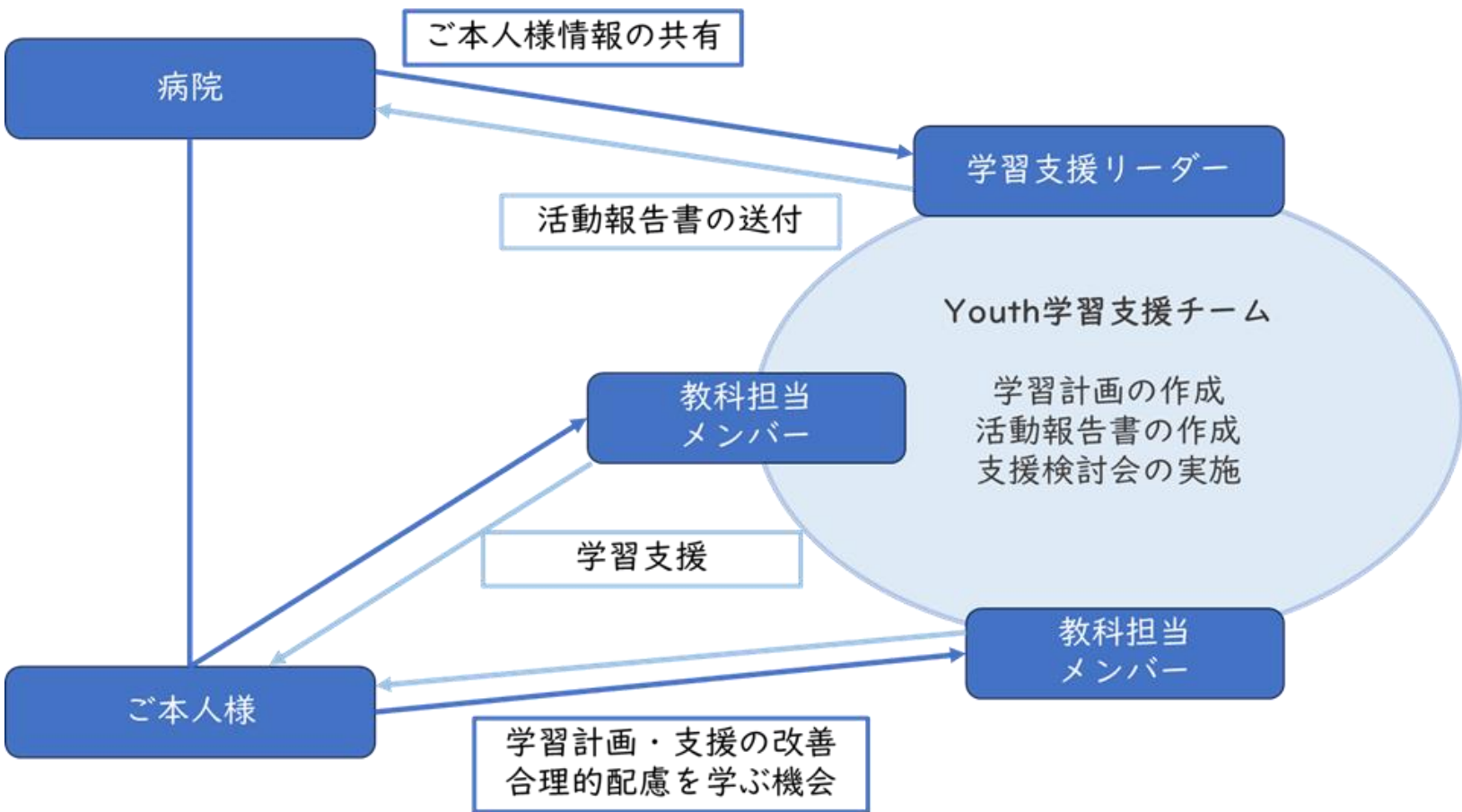
われても→割れても？何が割れる？



# 学習支援の体制

## オンライン学習支援

## プリント学習支援





# 全体ミーティング

- ・活動にあたっての理念や目標の共有と確認
- ・プリントづくりに関してのアイデア出し
- ・活動のための支援や指導方法の相談

## 学習支援MTG

実際に個別の支援を担当しているメンバーが集まって情報共有や支援における困りごとの相談を行った



支援の質の向上と様々な専門性をもった学生が互いに協力し合える体制をとれた



# ICT活用に向けて



## Kubiとは…

単にZoomのようなオンラインミーティングによる接続ではなく、視点の遠隔操作や持ち運びが可能で、より臨場感のあるつながりがオンラインで実現するための支援ロボット

入院児の支援において、病院と学校の授業をつなぐことでリアル感が高まる  
として用いられることも多い



## 練習会

より多くのメンバーがKubiを用いたTelepotalkをスムーズに使えるようになるために、実際に操作したり活用して何ができるかのアイデア出しを行った

今後もKubiやメタバースについての練習会は実施予定

# 活動成果

①

入院治療中の子どもたちのQOL (Quality Of Life) 向上への寄与。長期入院中の小学生～高校生に対し、医療スタッフや家族以外の第三者の関わりをつくり、子どもが子どもでいられる関係・時間を作る。

オンライン学習支援により、定期的に関わりをつくることができることが分かった  
⇔ 「学習」という枠組みで限定的な活動しかできていない

②

教育学部生が入院や慢性疾患を抱える子どもの存在を知り、将来の臨床の場において有効的な教育ができるように学びを得る。さらに、教育学と臨床心理学を学ぶ学生が共に支援に取り組むことで、学生の段階から多職種連携を意識する。

メンバーは実際に入院児/病弱児と関わる機会が持てて、そのためのMTG等が行えた  
⇔ 対外的により多くの学部生や教育関係者に入院児の実情を伝えるべき

③

教育と医療の橋渡しになる。信州大学教育学部内の団体として、長野県内の病院と信頼関係を築き、医療と教育間の連携強化に貢献する。

信州大学附属病院の小児科に協力していただき、支援の必要性も実感してもらえた  
⇔ 支援に入るハードルはまだ高く、広報も不十分であるため強化していく

# 気づき

入院児への支援は絶対的に必要な教育/支援である

→ ニーズは確かに存在していて、現場の必要性も高い

そのための支援を実現させるためのノウハウや前例が不足

→ 支援のための道をゼロから構築することは難しい



1例ずつ確実に実績を重ね、社会に広めていくことが重要

# 今後に向けて（全体像）

長野/松本の病院に向けたチラシ配布と広報

ICTを活用した交流方法の計画と準備



メンバーの拡大  
団体としての安定化  
外部への紹介



実際の支援（交流・学習）を実施

- ・ 個別の学習支援
- ・ 大学の講義の見学
- ・ オンラインゲーム
- ・ ICTによる交流会

# 今後に向けて（交流支援）

## 大学の講義の模擬体験

- 中学生・高校生などで大学進学希望のある場合、大学の雰囲気を感じることで学習意欲の促進や治療意欲の向上をねらう

## 外出体験による交流

- 入院中は外に出ることは限定的であり、長期入院になるほど同世代との体験格差は大きくなってしまいうため機会を創出する  
案) 直近では銀嶺祭への参加

## 大学生との交流会

- 入院中は関わる人が限定的で大人数で遊ぶ経験はできない  
大学生と一緒に遊んだり、おしゃべりする機会によって「楽しむ時間」をつくる

# 今後に向けて（学習支援）

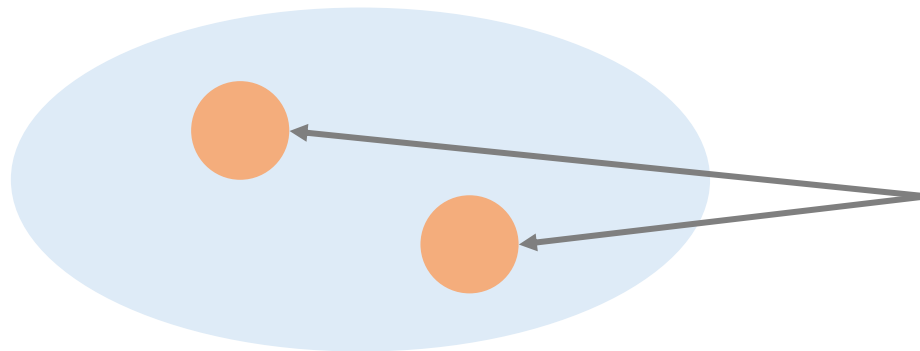
## 支援の空白期間

退院して、自宅療養や慣らし登校中の期間は支援の手が届かない一方で、授業への出席や学習は不安定



## 院内学級のない病院

小児科の規模が小さい場合、院内学級の設置はない  
こどもたちの人数の限られるため、支援も手薄になる可能性



院内の入院児が1、2人の状況にある  
子どもたちへの支援